

## 今月の経済動向（平成28年8月）

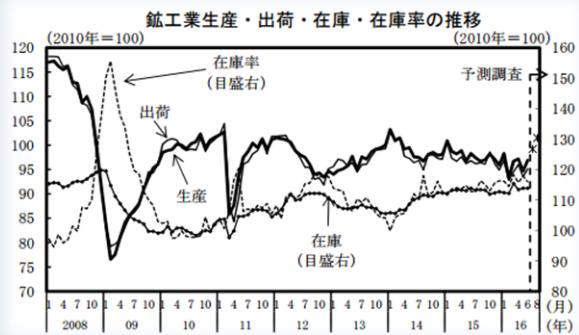
### ● 月例経済報告

基調判断	景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待される。	
個人消費	消費者マインドに足踏みがみられるなか、おおむね横ばいとなっている。	<p>消費総合指数と実質総雇用者所得 (2005年=100)</p> <p>消費総合指数 6月 +0.3% 3MA +0.0%</p> <p>実質総雇用者所得 (目盛右) 6月 ▲1.1% 3MA ▲0.7%</p>
設備投資	持ち直しの動きがみられる。	<p>製造業・非製造業の設備投資（実質） (2000年=100)</p> <p>製造業 非製造業</p> <p>(備考) 1. 財務省「法人企業統計季報」、内閣府「国民経済計算」により作成。 2. 実質値は、QE設備投資デフレーターによる試算値。</p>
住宅建設	持ち直しの動きがみられる。	<p>住宅着工戸数（季節調整値） (年率：万戸)</p> <p>6月 100.4万戸 3MA 100.5万戸</p>
雇用	改善している。	<p>完全失業率と有効求人倍率の推移 (倍) (%)</p> <p>有効求人倍率 6月 単月：1.37倍 3MA：1.36倍</p> <p>完全失業率（目盛右） 6月 0.88倍 3.0 (月) 6月 3.1% (年)</p>

[月例経済報告：内閣府](#)

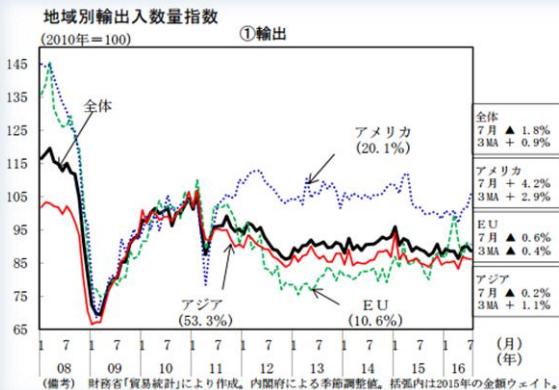
生産

横ばいとなっている。



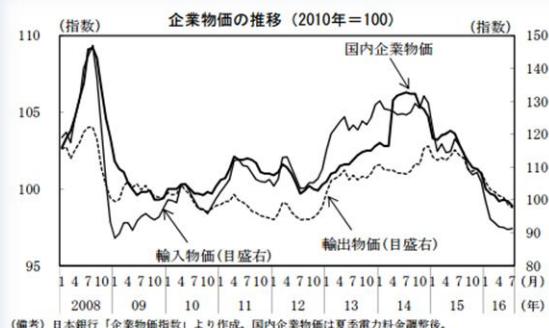
輸出

おおむね横ばいとなっている。



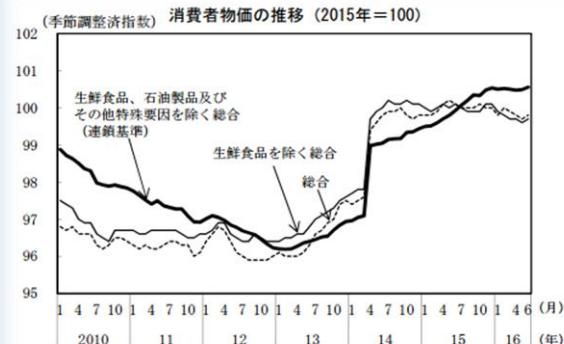
国内企業物価

このところ下落テンポが鈍化している。



消費者物価

横ばいとなっている。



海外経済

弱さがみられるものの、全体としては緩やかに回復している。

[月例経済報告：内閣府](#)

## ● 景気動向指数（平成28年6月）

平成28年6月のCI一致指数は前月より1.9ポイント高い111.1ポイントとなった。CI先行指数は前月より0.8ポイント高い99.2ポイント、遅行指数は前月より1.2ポイント高い112.7ポイントとなった。  
景気の基調判断(CI一致指数)は、「足踏みを示している」を据え置いた。

### ・ CIの推移

